

障がい者と目指す「共に生きる」社会 福祉をビジネスにする試み



出版した本を手にする榎本社長(左)と砂長さん

『障がい福祉』で書籍刊行

障がいの法定雇用率が4月から引き上げられる。民間企業で働く障がいの数は昨年6月1日時点で49万人を超えて過去最多を更新するなど、企業の障がい者雇用は年々増加している。保険業界でも、特例子会社を設立して、積極的に障がいの雇用の進める動きが見られる。働く仲間として障がい者を迎えるために、企業が考慮すべきことは何か。このほど、福祉をビジネスとして軌道に乗せた企業家を紹介する『障がい福祉の学びで得た5人のビジネス』(ラブリナ出版)が刊行された。執筆者の一人、ぜんち共済の榎本重秋社長と監修した砂長美んさんに、障がい者と共に生きること、人を幸せにするための企業・ビジネスについて話を聞いた。砂長さんは、ディスレクシアという読み書き障がいの当事者でありながら、一般社団法人「ありがとうショップ」代表として、障がい者施設で作った商品の企画開発・コンサルティングを行っている。

二人の出会い。砂長 発達障がいの一つであるディスレクシアを広く知ってもらうためのドキュメンタリー映画に主演したのを機に、全国で上映会と講演を行うようになった。川崎市の障がい者就業施設のオ

ー二人の出会い。砂長 発達障がいの一つであるディスレクシアを広く知ってもらうためのドキュメンタリー映画に主演したのを機に、全国で上映会と講演を行うようになった。川崎市の障がい者就業施設のオ

た時は、本当にうれしかった。本書を作るきっかけは。砂長 自身、過去に生保販売に携わった経験があり、「保険の良さを知ってもらうためにはどうしたらいいか」と考えた結果、本の出版を思い付いた。保険と関わりが深い「暮らす」の他、「学ぶ」「働く」をテーマに、いろいろな福祉の企業家の話をまとめた面白くないかと思つた。他の執筆も、二人が活動する中で知り合

た時は、本当にうれしかった。本書を作るきっかけは。砂長 自身、過去に生保販売に携わった経験があり、「保険の良さを知ってもらうためにはどうしたらいいか」と考えた結果、本の出版を思い付いた。保険と関わりが深い「暮らす」の他、「学ぶ」「働く」をテーマに、いろいろな福祉の企業家の話をまとめた面白くないかと思つた。他の執筆も、二人が活動する中で知り合

た時は、本当にうれしかった。本書を作るきっかけは。砂長 自身、過去に生保販売に携わった経験があり、「保険の良さを知ってもらうためにはどうしたらいいか」と考えた結果、本の出版を思い付いた。保険と関わりが深い「暮らす」の他、「学ぶ」「働く」をテーマに、いろいろな福祉の企業家の話をまとめた面白くないかと思つた。他の執筆も、二人が活動する中で知り合

た時は、本当にうれしかった。本書を作るきっかけは。砂長 自身、過去に生保販売に携わった経験があり、「保険の良さを知ってもらうためにはどうしたらいいか」と考えた結果、本の出版を思い付いた。保険と関わりが深い「暮らす」の他、「学ぶ」「働く」をテーマに、いろいろな福祉の企業家の話をまとめた面白くないかと思つた。他の執筆も、二人が活動する中で知り合

た時は、本当にうれしかった。本書を作るきっかけは。砂長 自身、過去に生保販売に携わった経験があり、「保険の良さを知ってもらうためにはどうしたらいいか」と考えた結果、本の出版を思い付いた。保険と関わりが深い「暮らす」の他、「学ぶ」「働く」をテーマに、いろいろな福祉の企業家の話をまとめた面白くないかと思つた。他の執筆も、二人が活動する中で知り合

た時は、本当にうれしかった。本書を作るきっかけは。砂長 自身、過去に生保販売に携わった経験があり、「保険の良さを知ってもらうためにはどうしたらいいか」と考えた結果、本の出版を思い付いた。保険と関わりが深い「暮らす」の他、「学ぶ」「働く」をテーマに、いろいろな福祉の企業家の話をまとめた面白くないかと思つた。他の執筆も、二人が活動する中で知り合

いになった人たち。榎本 この本の書き手はそれぞれ、美んちゃんという強力な「接着剤」がつながった。砂長 クラウドファン

人を幸せにするための企業とは

らっている。砂長 私は障がい者で読みたい。障がい者にとって、保険を扱う会社で働く者として、「障がいとはどういうものか」を障がいのある人と接する中で学んでいかなければならぬ。美んちゃんには発達

ぜんち共済社長

榎本重秋さん

ありがとうショップ代表

砂長美んさん

「障がい者が頑張ったんです、買ってくだ

「障がい者が頑張ったんです、買ってくだ